

3月4日：利益確定売りに押され、VN指数は6日ぶりに反落

ホーチミン市場のVN指数が午後も下落基調だった一方でハノイ市場のHNX指数は上昇に転じ、木曜日のベトナム株式市場は売り買い交錯した。

ホーチミン市場の主要指数であるVN指数は1.55%安の1,168.52ポイントで取引を終えた。同指数は朝方2.23%(26.52ポイント)下げている。

結果として同指数は朝方下げているが、取引終盤にかけて値を戻した。

値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回り、下落が362銘柄、一方で上昇は95銘柄だった。出来高は多く、同市場は168億ドンが資金流入し、売買高は6億7,340万株以上だった。

利益確定売り取引所のオーバーキャパシティの懸念から、全セクターで多くの大型株は大きく売られ、ホーチミン市場の大型株30銘柄に連動するVN30指数は1.78%安の1,174.29ポイントで引けた。

同指数採用銘柄ではビンググループは変わらず、残りは全て下げた。ビンググループは朝方、採用銘柄で唯一上昇していた。

マーケットの値下がり寄与度トップ5銘柄には、ビンホームズ (VHM) -1.48%、テクコムバンク (TCB) -3.22%、ベトナム投資開発銀行 (BID) -2.4%、ベトナムコムバンク (VCB) -1.22%、ベトナムゴム工業グループ (VRE) -2.87%といった不動産、銀行、素材セクターが含まれた。

一方で素材、石油ガス、農薬関連株の上昇は下げ幅の減少に寄与し、ポミナ鉄鋼 (POM) +6.02%、ペトロベトナム・ドリリング (PVD) +2.76%、ドゥックザン化学 (DGC) +2.61%、ペトロベトナム・カマウ肥料 (DCM) +2.51%と上昇した。

ハノイ市場では、HNX 指数が上昇に転じ 0.66%高の 255.77 ポイント。同指数は朝方 0.48%下落していた。HNX30 指数も 0.22%高の 376.42 ポイントだった。

売買高は約 1 億 7,610 万株、売買代金は 2 兆 7,900 億ドンを超えた。

外国人投資家は昨日に続き、両市場（ホーチミン・ハノイ市場）で売り越した。売買代金はホーチミン市場で 2,296 億 5,000 万ドン、ハノイ市場で 135 億 1,000 万ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。